

# 都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

## 高田地区

令和7年12月

長野県長野市

## 様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県	市町村名	長野市	地区名	高田	面積	96ha								
交付期間	平成31年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和7年12月	交付対象事業費	1730.2	国費率	0.448								
事業名															
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業 基幹事業	道路(長野西884号線外改良)、公園(南向公園)、地域生活基盤施設(耐震性貯水槽、防災倉庫)													
		提案事業 なし													
事業名															
1)事業の実施状況	当初計画から削除した事業 基幹事業				削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響								
	新たに追加した事業 基幹事業														
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	交付期間の変更 当 初			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
		変 更													
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		従前値	目標値	数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期						
	指標1	避難場所カバー率	%	21.15	H30	92.94	R5	-	92.94	○	ありなし	避難路と防災機能を備えた公園の整備により、安心な居住環境が確保できた。	令和8年3月		
	指標2	地域交流イベント参加人數	人	740	H30	944	R5	-	1,010	○	ありなし	公園に多くの人が集まり、事業効果が充分に発現された。	令和8年3月		
	指標3										ありなし				
	指標4										ありなし				
	指標5										ありなし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		従前値	目標値	数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期						
	その他の数値指標1														
	その他の数値指標2														
	その他の数値指標3														
4)定性的な効果発現状況															
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況		今後の対応方針等							
	モニタリング		なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	官民連携による取組		公園建設検討委員会の開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		● 地元自治体によるイベントの開催により、多くの住民が公園に集まるなどで、避難所としての機能を多くの住民へ周知を図る。							
	持続的なまちづくり体制の構築		地域コミュニティーの創造			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		● 三世代交流の場として、公園を通じて地域コミュニティー活動の充実、発展を図る。							

## 様式2-2 地区の概要

## 高田地区(長野県長野市) 都市再生整備計画事業の成果概要

## (1) 成果の評価

### 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他( )					

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	長野西884号線外改良	340	L=427m	185	L=427m	事業進捗による残事業費の見直しのため	なし	●	
公園	南向公園	1,733	A=2.1ha	1,535	A=2.1ha	事業進捗による残事業費の見直しのため	なし	●	
河川									
下水道									
駐車場有効利 用システム									
地域生活基盤 施設	耐震性貯水槽 防災備蓄倉庫	10	1基 40t A=13.5m <sup>3</sup>	5.2	1基 40t A=13.5m <sup>3</sup>	事業進捗による残事業費の見直しのため	なし	●	
高質空間形成 施設									
高次都市施設									
既存建造物活 用事業									
都市再生交通 拠点整備事業									
土地区画整理 事業(都市再 生)									
住宅市街地 総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業	-								
パリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造支援事業	-								
事業活用調査									
まちづくり活動推進事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業							
事業	細項目	事業箇所名	事業費	事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画		
-							

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標		データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)	目標値 (ウ)	数値(エ)		目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
			単位	基準年度			基準年度	目標年度			あり	なし
指標1	避難場所カバー率	% 地理情報システムによる計測	21.15	H20	21	H30	92.94	R5	モニタリング		モニタリング	
									事後評価	確定 見込み	●	92.94
指標2	地域交流イベント参加人数	人 地区役員への聞き取り	-		740	H30	944	R5	モニタリング		モニタリング	
									事後評価	確定 見込み	●	1,010
指標3									モニタリング		モニタリング	
									事後評価	確定 見込み		
指標4									モニタリング		モニタリング	
									事後評価	確定 見込み		
指標5									モニタリング		モニタリング	
									事後評価	確定 見込み		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	公園整備により、新たに指定緊急避難所に指定されたことから、目標値に達した。	
指標2	地区役員が公園を利用したイベントの検討を重ね、好評を得たことからイベント参加人数の増につながった。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことという。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
				基準 年度	基準 年度			
その他の 数値指標1						モニタリング		
						事後評価	確定 見込み	
その他の 数値指標2						モニタリング		
						事後評価	確定 見込み	
その他の 数値指標3						モニタリング		
						事後評価	確定 見込み	

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のこという。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

--

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した  予定はなかったが実施した  予定したが実施できなかった (理由 )		
	予定どおり実施した  予定はなかったが実施した  予定したが実施できなかった (理由 )		

### 添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
公園建設検討委員会	予定どおり実施した  予定はなかったが実施した  予定したが実施できなかった (理由 )	●  平成27年10月に会を発足 これまでに37回の会議を開催 施設整備から公園の配置計画まで意見交換を行い、設計に反映することができた。	令和6年6月の公園オープンにともない委員会解散
	予定どおり実施した  予定はなかったが実施した  予定したが実施できなかった (理由 )		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i . 体制構築に向けた取組内容	ii . まちづくり組織名：組織の概要	
地域コミュニティーの創造	予定どおり実施した  予定はなかったが実施した  予定したが実施できなかった (理由 )	●  3世代交流の場となる公園を目標に、イベントを開催することで、地区住民の公園利用を促進し、ふれあいの場を提供した。	上高田区	引き続きイベントを行うことで、公園利用を促進する。あわせて愛護活動の実施により、愛着のある公園を目指す。
	予定どおり実施した  予定はなかったが実施した  予定したが実施できなかった (理由 )			

### (3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

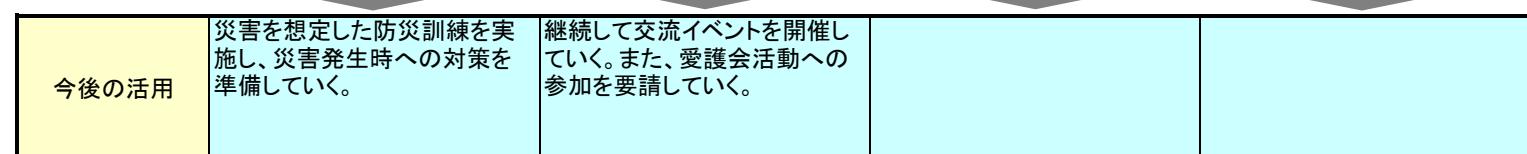
名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
上高田南向塚公園建設検討委員会	区長、地区役員、公園緑地課	令和6年6月～令和7年3月	公園緑地課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2	指標○	指標○		
指標名		避難場所カバー率	地域交流イベント参加人数				
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	長野西884号線外改良	-	防災機能を持った公園整備が完了したことから、指定緊急避難所に指定され、事業効果が発現したものと考えられる。	-	子供から高齢者まで多様化する需要に対応した公園整備が完了し、多彩な交流イベントを開催したことが、事業効果の発現に寄与したものと考えられる。		
	南向公園	◎		◎			
	耐震性貯水槽	◎		-			
	防災備蓄倉庫	◎		-			
提案事業							
関連事業							

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を發揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を發揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。



添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類									
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度

××:事業が効果を発揮せず、

△:指標の目標未達成の直接的な原因となった。

×:事業が効果を発揮せず、

△:指標の目標未達成の間接的な原因となった。

△:数値目標が達成できなかつた中でも、

ある程度の効果をあげたと思われる。

-:事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

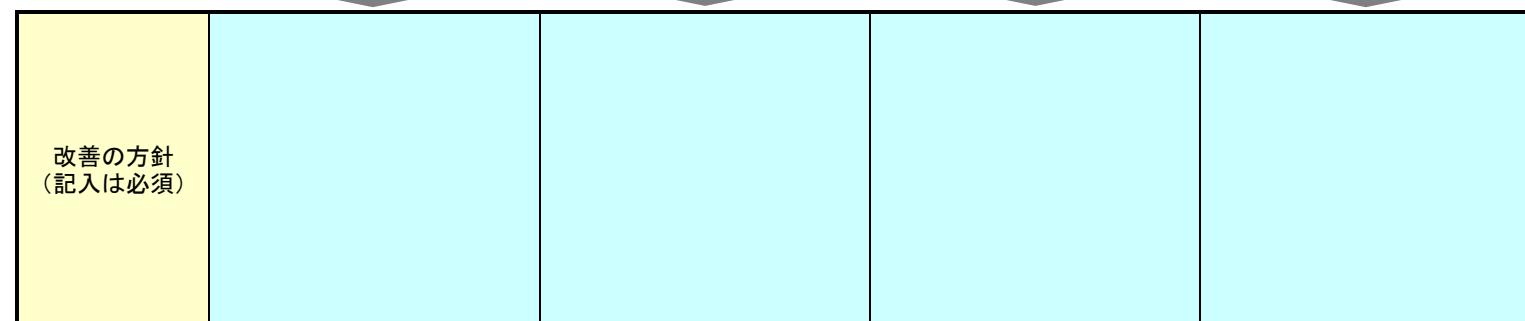
※要因の分類

分類I:内的な要因で、予見が可能な要因。

分類II:外的な要因で、予見が可能な要因。

分類III:外的な要因で、予見が不可能な要因。

分類IV:内的な要因で、予見が不可能な要因。



#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
上高田南向塚公園建設検討委員会	区長、地区役員、公園緑地課	令和6年4月～令和7年3月	公園緑地課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
災害時の拠点となる公園の整備が求められている。	耐震性貯水槽、防災備蓄倉庫、防災トイレを公園内に整備し、指定緊急避難所に指定された。		
地域住民がふれあい交流のできる拠点の整備が求められている。	三世代が交流できるイベントを開催し、多くの地域住民が交流できる場となった。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	地域住民交流の促進	公園愛護会活動への参加を促し、地域から親しまれる公園となるように世代間交流を促進する。	世代間交流事業

B欄 改善策  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

- 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
- 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
- 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
- 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
- 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

今後のまちづくり方策に関するその他の意見
----------------------

#### 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・從前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標		単位	従前値	年度	目標値	年度	評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無
指標1	指標2		指標3		指標4		指標5	指標6		
指標1 避難場所カバー率	指標2 地域交流イベント参加人数	% 人	21.15 740	H30	92.94 944	R5	確定 見込み	● ○	93	◎ ありなし
							確定 見込み	● ○	1,010	◎ ありなし
指標3				H		H	確定 見込み			ありなし
指標4				H		H	確定 見込み			ありなし
指標5				H		H	確定 見込み			ありなし

フォローアップ計画		
予定時期	計測方法	その他特記事項
令和7年2月	地理情報システムによる計測	
令和7年12月	令和7年度イベント開催時に利用者数を計測する。	

その他の数値指標1			H	確定 見込み				
その他の数値指標2			H	確定 見込み				
その他の数値指標3			H	確定 見込み				


## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	イベントの開催により、交流人口の増加につながった。	
	うまくいかなかつた点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	防災機能を備えた、地域住民が交流できる公園を整備することができた。	
	うまくいかなかつた点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	計画段階でワークショップを開催し、様々な意見を集約し、愛着のある公園となった。	
	うまくいかなかつた点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかつた点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかつた点		

## 添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区的次期計画も含む)

現在長野市で都市再生整備計画事業(都市構造再編集中支援事業)を活用している地区

- ・北長野地区

今後、都市再生整備計画事業(都市構造再編集中支援事業)の活用を予定している地区

- ・善光寺表参道地区(第4期)

## (5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに掲載	令和8年1月26日(月)～ 令和8年2月 9日(月)		都市整備部都市計画 課 都市整備部公園緑地 課	都市整備部都市計画 課 都市整備部公園緑地 課
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他	担当部署での閲覧	令和8年1月26日(月)～ 令和8年2月 9日(月)			

住民の意見	
-------	--

## (6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員					
その他 の委員					
審議事項※1		委員会の意見			
事後評価手続き等にかかる審議	方法書				
	成果の評価				
	実施過程の評価				
	効果発現要因の整理				
	事後評価原案の公表の妥当性				
	その他				
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認				
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成				
	フォローアップ				
	その他				
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認				
その他					

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

## (7) 有識者からの意見聴取

### 添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--